

名前の由来と会の目的

「あぶらむの会」は、旧約聖書創世記に出てくる、信仰の父アブラハムの旅立ち前の名前、「アブラム」に由来しています。それによれば、彼はその内的必然性故に、安住の地を離れて「行く先知らずして」旅立ちました。全てに対してあまりにも安定を求める今日、私たちは旅としての人生に臆病になり、旅に必要な能力を欠いているように思われます。

「あぶらむの会」は、自己の人生に果敢に挑戦し、人生の良き旅人を育てるため、それに必要な訓練や出会いの場を提供してゆくことを目的としています。「他者と共に生きる知恵」を身につけるとともに、不確かな出来事としての人生の中で転ぶことを恐れず、「転んだら起き上がる力」を養い、やがて「自分で自分の魂を世話していく」、そんな人生の旅人づくりがあぶらむの会の役割と信じます。

あぶらむの会の活動

人生の良き旅人育てを目的とするあぶらむの会の活動は、主に次の三つの柱で構成されています。

1. 人生旅路の中で、「立ち止まる場」としての宿の提供

- ・リフレッシュ、リラックス等を含め、個々人の自分との対話の場として
- ・家庭裁判所との補導委託契約により、サポートを必要とする少年の受け入れ
- ・WWOOF Japan のホスト先として、自分探しをしている世界各国からの若者ボランティアの受け入れ
- ・あぶらむを必要としている人との短中期共同生活

2. 自己成長、自己発見に関わる各種研修プログラム

- ・病院や看護学校等の研修プログラム
- ・里山自然学校や里山生活学校の開校
- ・教会キャンプやゼミナール、各種サークルの合宿の受入
- ・自己成長を目的とする旅の企画（ネパールの旅等）
- ・各種コンサートや講演会の開催



3. 私たちの旅の舞台である地球環境問題との取り組み

- ・四季折々の里山生活を通して、環境やエネルギー問題、IT 化社会がもたらす問題等、現代社会が直面している諸問題を具体的に考え、実践する。

あぶらむの宿で出来ること

生きていくために必要なことなのに、普段は誰かがやってくれている・・・
そんな作業を四季折々、あぶらむの宿で体験してみませんか？そして、時に立ち止まり、振り返り、自分を充電してみましょう。豊かな自然に囲まれて、イベントや遊びのプログラムもいっぱい！

さらに・・・

- 少し足をのばせば、周辺にも見どころがたくさん！
- 宇津江四十八滝（あぶらむの宿より徒歩 10 分）
- 世界遺産 白川郷（車で 1 時間）
- 乗鞍岳、上高地（車で 1 時間半）



あぶらむの会では、高山市北部の宇津江地区に土地を取得しました。
1990年に母屋が、1995年には研修所「諸魂庵（しょこんあん）」が完成し、「あぶらむの宿」として活動の拠点になっています。

あぶらむの宿 ご利用案内

一般社団法人 あぶらむの会 代表 大郷 博

〒509-4121 岐阜県高山市国府町宇津江3225-1
TEL 0577-72-4219
FAX 0577-72-4494
E-mail abram@hidatakayama.ne.jp
URL www.abram-no-kai.com

